



暮らしと文化

「大東の鉱山」その2

大東の歴史を探ねる会 宮澤 明久

大東の鉱山については、既に「まるこやま」61号(令和2年6月)で大東鉱山は太陽鉱工(株)大東鉱業所、東山鉱山は妙中鉱業(株)東山鉱業所、清久鉱山は清久鉱業(株)清久鉱業所を中心として本格的な操業が行われていたことを紹介した。

小学校の遠足で見学を訪れた思い出があるが、当時の様子が分かるものを少し紹介したい。

太陽鉱工(株)の社内報「たいよう」に寄せられた大東鉱山の社員の「欲しいものアンケート」では

A氏 ①お友達との楽しい観光旅行②ステレオ③電化したわが家

B氏 ①住宅の建設②家庭電化(テレビ、冷蔵庫)③一家揃って楽しい旅行

と答えており電気製品への憧れがうかがわれる。そして町内上町あたりでは数軒のパチンコ屋が賑わっていた。南本町の坂を上ったところには映画館もあったが鉱山の衰退、テレビの普及とともに閉館した。まるこやま73号(令和4年5月)に紹介されている。

また、町内にあった居酒屋も繁盛していたようである。阿用にあった酒屋では仕事帰りの人々が一杯飲み立ち寄り姿で溢れかえっていたようである。

当時大東鉱山には野球チームがあり強豪として国体の常連であり野球場の跡が今も残っている。

織部地区の赤川脇にあった通称「吉田御殿」は、元清

久鉱山社長であった吉田章義氏の住居兼会社事務所であったが屋敷の前面に設けられた大きな池には多数の大きな鯉が泳いでおり度々見学者の貸し切りバスも訪れていた。吉田氏の妹三岸節子は女性洋画家として初の文化功労者となられた著名な画家で、大東の地に美術館を建てる構想もあったようであるが今は故郷の一宮市三岸節子記念美術館に作品が収められている。先年町内で当時の作品が当該美術館の学芸員により見つけられお里帰りしたようである。

このような社長の影響を受けられたのか、後に清久鉱業(株)の社長となられた故浦上敏朗氏は、実業家の傍ら貴重な美術品の収集を進められ浦上コレクションと呼ばれる時価100億円相当の美術品を郷里山口県へと寄贈され、山口県立美術館・浦上記念館の名譽館長を勤められた。当時同氏は吉田御殿の西隣に居を構えておられ、ご子息と同級生であった私は何度かお邪魔して遊んだこともあった。

このように戦後普興期の町内は、鉱山の繁栄とともにあったことが伺える。



今も残る野球場▶

# まるこやま

## 大東交流センターだより

### 大東地区民体育大会

久しぶりの運動会にみなさん勢ぞろい!  
10月6日(日)大東小学校で大東地区民体育大会が5年振りに開催されました。皆さんの健康増進と親睦の場となりました。



#### かご入れ継走

なかなか思うように入りません!  
百発百中の名手もいれば、悪戦苦闘の選手も。声援のプレッシャーを跳ねのけた集中力が勝負の分かれ目。



#### お菓子詰め放題

袋一杯詰めてとにかくいっぱい詰めて(親御さん...) どのお菓子がいいかな、子どもたちも必死です。微笑ましい光景でした。



#### 玉入れ競争

一心不乱にかごを目指して玉を投げても思いとは裏腹に中々入りません。しゃがんで起きしゃがんで起きるの繰り返し。成果はともかく良い運動になりました。



図書館だより

### 「ゲームでたんか」を開催しています!

大東図書館では、短歌ワークショップ講師の木佐優士さんをお招きし、短歌に親しむ会「ゲームでたんか」を開催しています。「ゲームでたんか」とは、3~4人のグループに分かれて、それぞれ5音と7音の言葉を探して紙に書き出します。次に、みんなで相談しながら書き出した言葉をつなぎ合わせて短歌をつくり、最後には各グループから一首発表し味わいます。

短歌って難しいかな? いえいえ、初めての方でも大丈夫! 子どもさんから大人の方まで、言葉をつなげて楽しみましょう! 8月に開催した第1回目の作品から、一首ご紹介します。

『うまれたよ だいとうちょうでこうのとりのさんばのひながすくすく育つ』

また、館内では他の作品や短歌関連図書の展示、だれでも短歌づくりを体験できるコーナーもあります。和歌誕生の地大東町で、短歌により親しんでいただければと思っています。ご来館お待ちしております!

※次回の「ゲームでたんか」は令和7年2月末頃開催予定です。【申し込み・問い合わせ先】大東図書館 Tel: 0854-43-6131



第1回目の様子

### 今後の行事案内 高齢者交流会

高齢者交流会を大東交流センターで12月17日(火)に開催します。当日は、出雲市のマジシャン、ハダさんを迎えてマジックショーとバルーンアートを予定しています。たくさんの方のご来場をお待ちしております。



### 大東地区自治振興協議会 常勤・非常勤職員を募集します

- ◆募集職員: 常勤職員、非常勤職員
- ◆業務内容: 地域自主組織運営に関する業務管理
- ◆雇用期間: R7.4.1~R9.3.31
- ◆提出書類: 申込書、履歴書、応募動機書
- ◆受付期間: R7.1.27~R7.2.10
- ◆選考方法: 書類審査、面接
- ◆その他: 勤務条件等詳細は、問い合わせください

#### 問い合わせ先

大東町大東2419-1 (大東交流センター内)  
大東地区自治振興協議会 Tel: 43-2130



### 大東よいとこ祭り

第42回大東よいとこ祭りが10月20日(日)好天に恵まれて多くの人で賑わいました。

恒例のよいとこ総踊りで会場は一気に祭りの雰囲気! ステージイベントでは、ダンス、歌、踊り、大道芸で大いに盛り上がり笑顔が広がりました。

併せて第47回大東町文化展が開催されて、絵画・写真・書・文芸・工芸の他、児童・生徒たちの作品も展示されて1200人を超える人が芸術の秋を堪能しました。



テント村は人で埋め尽くされみなさん思い思いの買い物を楽しんでました!



女性振興会のみなさん! 愛情たっぷりのカレーはいかが...

子どもたちに大人気のよいとこ戦隊 ダイトレンジャーショー 各戦隊も白熱の演技で会場を大いに盛り上げました。

文化展にも沢山の人が親子で訪れ自分の作品を見つけ...うれしそう! 出品された素晴らしい作品に感動しました。



### あいあい募金

【香典返し】大東町(田中上)中西 章博様  
大東町(東町下)多久和二郎様

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただきます。(大東地区振興あいあい募金運営委員会 TEL: 43-2130)

## 松江木次線(新庄工区)交通安全補助工事

東大橋北詰から松江方面に向かう中湯石地区までの新庄地区内は、住宅が隣接し歩道が狭い区間や片側しかなく、また、通学時間帯と重なる朝夕は交通量多く、歩道のない区間は、狭い路肩を通行したり、反対側への道路横断を余儀なくされ地元ボランティアや交通指導員たちの見守り活動により安全・安心な通学路が確保されている状況です。

こういった状況を憂慮した地元から歩道の設置・整備を要望していたところ、去る9月21日(土)に安全祈願祭・起工式が行われ整備工事がスタートいたしました。

松江木次線バイパス工事(東大橋までの道路)も今年度末、完成に向けて進められており道路網の整備により、安全で充実した人流・物流が図られることが期待されます。



## 出雲國風土記探究会

第1回目の出雲國風土記探究会が10月16日(水)に開催され、なぜ風土記が作られることになったのか、古事記、日本書紀との関係など、講師の佐々木俊博氏のユーモアも交えた解説に出席者は古代出雲に想いをめぐらしました。

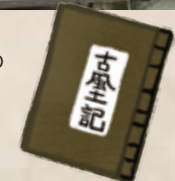
時の権力の命により各国で「風土記」が編纂されてから約1300年の時が流れました。

島根県には全国にも稀な完本に近い写本が存在します。

島根県立古代文化センターを中心に「出雲國風土記」の研究が進められ、その解析や遺跡調査による地名の根拠や場所の特定など、様々な成果が出ています。



古代文化センターのHPではこの写本を見ることが出来、当時の人々の暮らしを垣間見ることが出来、編纂に関わった人達の人となりを感じることができます。



また私達は「神話の國 出雲」に生まれ、育ち、この出雲の「風土」と共に生活しています。これからこの故郷を大切に、そして次の世代に残していきたい。その「風土」を伝えて行く糧として、「出雲國風土記」を皆さんも探求してみませんか。

次回は12月18日(水)です。

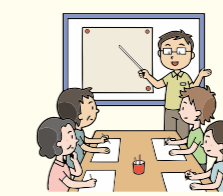
## 大東地区振興会研修会

大東地区振興会は、11月6日(水)江津市役所を訪問し、地域自主組織の在り方、まちおこし・街づくり等地域課題解決に向けた視察研修を実施しました。

江津市役所職員及び郷田地域交流センターの方から地域コミュニティ組織の活動について説明を受けた後、意見交換に移りました。

江津本町地区では、歴史的建造物の維持管理や、イベント「ふらり」は若者を含めた手作りの地域行事として開催されているようです。

高齢者交流は出席者の固定化、女性の活動組織はなくこちらが質問を受けたりと、友好的な雰囲気得意義深い視察研修でした。



## 小学生との交流会

10月11日(金)、幸運体操に参加の高齢の方々と大東小2年生の交流会が行われました。

子どもたちは生活科の学習「大東のすてき」の一環として、マッサージ店をはじめ、おはじきやお手玉、トランプ、お絵かきのお店を準備していました。マッサージ店ではお客さん役の皆さんが肩や手を揉んでも



らい気持ちよいひとときを過ごすなど、一生懸命に対応する子どもたちと豊かな時間を過ごしました。

子どもたちの演奏やダンスにも笑顔があふれました。子どもたちもこの交流会を通して地域の方々の温かさにふれ、また交流センターの働きについても理解を深めたようです。

## 大東明寿会お楽しみ大会

10月31日(木)大東公園体育館で大東明寿会お楽しみ大会が5年振りに開催されました。

会員の多くが平素から趣味や文化活動の一環として各種習い事及び修養に取り組まれており、その成果を発表、披露する場としての作品展や歌謡曲や踊りなどの芸能発表があり、楽しいひとときを過ごすとともに交流を深めた1日となりました。

当日は、会員はもとより一般の方も含め約180名程の来場があり、会場は手拍子や声援で盛り上がっていました。



## 大人の社会見学

生涯学習委員会では、11月5日(火)総勢25名で大人の社会見学に出かけました。

スマホの中に約1000個も使われているという小さな小さなコンデンサー。その製作の世界トップシェアを誇る出雲村田製作所を訪れ、お話を伺うとともに工場見学をしました。

また、山陰中央新報製作センターにも行きました。明治以来残されてきた記録としての新聞と私たち個々の記憶がつながることに大きな意味があることを再確認。新聞を使った老化防止策についても多く学びました。

